

# サンゴ保全活動における新たな 観光事業の創出



## 「3935プロジェクト」としてスタート

この事業は、石垣の観光に無くてはならない海の自然、この海にあって不可欠な要素であるサンゴに焦点を当てて提案した事業です。

ここで提案する事業は、今現在行われているサンゴ事業を否定するものでなく、その中の一つになるよう提案するものであることをご説明の前にご理解ください。



## サンゴ礁環境は職場環境

WWFが発表したデータによるとサンゴがもたらす経済効果は、年間約300億ドル（3兆6千億円）、そのうち漁業では57億ドル、観光では96億ドルに達していると報告されています。

（他に沿岸の保全90億ドル、生物多様性の価値55億ドル等）

この事からも漁業と観光を結びつけた事業を生み出す事は、大きな意義がある事と思っています。

サンゴ礁は、漁業者の事業活動場所であり、また、観光事業者にとってもこの環境は事業の中枢をなすものであり、サンゴ礁は職場環境そのものであると言って過言ではないと考えます。職場環境が同様であることは、この環境を守り育てることは生活環境を守っていくことと同様とも考えます。

この考えが、地方創生事業の基本的概念です。

# プロジェクトには4つの柱

- 1、サンゴ畑の設営
- 2、移設用サンゴ苗保管槽の設営
- 3、各種プログラム開発 サイエンスバックアップシステムの提供
- 4、未来に残す子供環境教育プログラムの提供



## サンゴ養殖が第一歩

### 事業の核は養殖から

サンゴ畑の制作 5000本養殖

### 目的

- 1、種の保全
- 2、安定した移植用苗の供給
- 3、移植による啓発活動

### 養殖方法

ひび建て式の導入

### なぜひび建て式

比較的浅い水域で行うことで生育場所が新たな事業環境  
生育率が非常に良いことから産卵による新たな生育群体



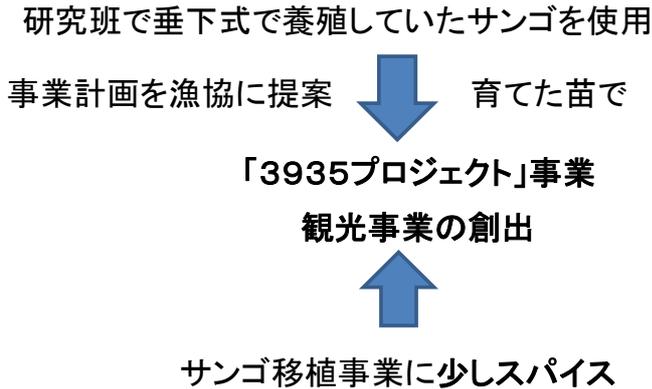
サンゴ養殖事業については八重山漁業協同組合とその組合員の皆様の全面支援で行われています。

# ひび建て式の種類

## 2種類の方法で行う

- 1、石垣漁協の観賞用漁業部会サンゴ養殖研究班方式(以下研究班)
- 2、恩納村が行っている方式

## 移植用の親サンゴは

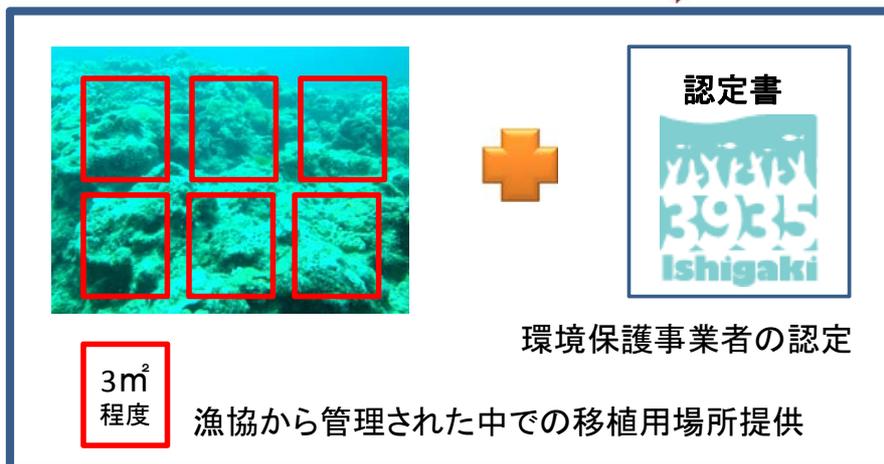


# スパイスによる事業の概要

## 自然環境アクティビティを提供する事業者への提案

漁協 ↔ 事業者

共通認識として事業環境の再生保護 → 生活環境保護



スパイスの効いた事業環境を漁協から提供

# 移設用サンゴ苗保管槽の設営

自然環境体験型施設の一つ → 近将来の事業の一環として石垣市にも提案

## サンゴ苗保管槽における事業

石垣の景色の感動を持ち帰ってもらう事業 → 感動体験お持ち帰り事業



サンゴの苗作り体験

ここにもスパイスを加えた提案

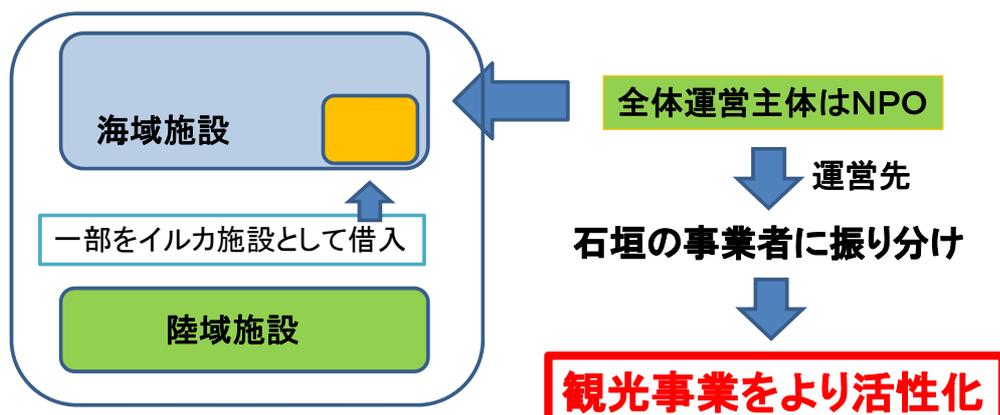
## 子供環境教育プログラム

海の自然がどれほど故郷に必要なのかを理解する活動に組み入れます

# 今後の計画(案)

## 施設整備計画(案)として

自然体験村(仮称)として、サンゴ再生と保護の施設、海の小動物、魚類などの飼育施設、その他関係する施設などの海域施設や付帯する陸域施設を建設事業運営を市内事業所に振り分け運営することで、観光事業をより活性化をしたいと考えます。



# サイエンスバックアップによる事業支援

なぜを科学的に解明



事業のスパイス

- 1、海での活動がどんな健康や健康増進に役立つものであるのか
- 2、スポーツツーリズムによる観光事業の方法論



事業の活性化に役立てていきます。



# 子供環境教育プログラムの提供

子供が未来を作っていく

子供達に海の遊びを通し楽しい活動を提供



楽しかった場所を守ることが必要なことを学ぶ場所

